

呉市在宅医療・介護連携に関する相談内容と対応（令和6年5月～8月受付分）

日	相談者	方法	相談種別	相談内容	対応	ケース No.
1 5月 2 3 4	地域医療連携室 MSW	電話	その他	令和6年度診療報酬改定で、入院中にリハビリテーションを受けていた患者が退院後リハビリテーションを受ける際に、医療機関は作成したリハビリテーション実施計画書を、訪問リハビリテーション事業所及び通所リハビリテーション事業所に提供することが義務付けられた。 リハビリテーション実施計画書の提供方法について院内で検討するにあたり、事業所の状況が分からないので教えてほしい。	呉市介護支援専門員協議会、通所リハビリテーション事業所、居宅介護支援事業所などに問い合わせた。 呉市介護支援専門員連絡協議会及び居宅介護支援事業所より、「計画書に関する情報はない。それぞれの病院や事業所で検討するようになるのではないかと」返答あり。通所リハビリテーション事業所より、「ケアマネジャーを介して受け取ることを想定し、医療機関に依頼する予定」と返答あり、相談者に情報提供した。	1
	市民	電話	入退院支援	義兄が入院中。退院後の生活について、主治医・本人・家族の3者協議ではなく、高齢者相談室、ソーシャルワーカー、呉市にも入ってもらい、義兄が退院しても安心して生活できるように皆で話し合って考えたい。	高齢者相談室及び地域医療連携室に状況を確認し、関係者全員で話し合えるよう調整しICに同席した。医療ソーシャルワーカーと退院後の生活についてご家族の意向を共有し、転院先の医療機関についてご家族の意向の沿って話し合いを行った。	2
	高齢者相談室 看護師	電話	地域資源の 情報提供	音戸・倉橋地域をサービス提供エリアとする介護タクシーの一覧表を作成しようと検討している。情報があれば教えてほしい。	福祉・介護タクシーについて、呉市社会福祉協議会、福祉保健課、介護保険課に確認し、呉市社会福祉協議会が作成している「呉市福祉タクシー取扱会社(組合) 名一覧表」を情報提供した。	3
	高齢者相談室 看護師	電話	医療機関の 情報提供	末期がんの患者家族からの相談。呉市外の病院に通院しているがしんどくなってきた。本人は訪問診療ができる病院に変えたい、自宅で過ごしたいという意向がある。 本人とご家族に色んな情報を提供したい。対応してもらえる医療機関はあるか。	本人の病状や進行具合をふまえ、対応してもらえる可能性のある医療機関の情報を提供した。	4

日	相談者	方法	相談種別	相談内容	対応	ケース No.
5 6月	市民	電話	医療機関の 情報提供	末期がんの妻。現在市外の病院に通院しているが、通院が難しくなってきた。訪問診療をしていて、私たちの思いに寄り添って対応してくれる病院を探している。病院を教えてください。	ご本人とご家族の意向を確認、対応してもらえる可能性のある医療機関の情報を提供し、決めるのはご本人とご家族であることをお伝えした。	5
6 7月	高齢者相談室 主任介護支援専門員	電話	医療機関の 情報提供	市民から相談。姑が実姉を介護中。姉は飲み込みが難しく痩せてきた。怪我をしても病院に行かず、かかりつけ医もいない。拒否的言動も見られ、姑が疲弊している。介護保険サービス等で何とかならないか。 サービスの受け入れが難しい状況で、対応策、初診で往診してもらえる医療機関はあるか教えてください。	被介護者の身体・精神状態を把握しアセスメントするため、訪問する必要があると思うが受け入れ困難が予想される。相談者や姑の状況や意向などを確認するとともに、認知症や精神疾患の可能性も考慮して、初期集中支援チームへの相談を提案した。	6
7 8月	高齢者相談室 主任介護支援専門員	電話	その他	「隣の家の電気が1週間くらいついてない。車も動いていない」と隣人から相談があった。対象者の家族歴や緊急連絡先などの情報が不明で、安否確認のために警察を呼ぶなどの騒動になった。（対象者は入院していた） 地域では今回のようなケースが増えている。独居で自立している元気な高齢者は地域の見守り対象から漏れることもある。入院時の情報共有など、病院から本人等へ声をかけてもらえることはできないか。	今後、独居高齢者や認知症の高齢者の増加が見込まれるため、地域の高齢者等の情報把握のあり方、情報共有の仕組みを検討していく必要がある。 高齢者等が安心して住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、できることや必要なことについて、呉市在宅医療・介護連携推進検討委員会や医療・介護連携ネットワークチーム等で協議する。	7